

## 岡田奎樹／吉岡美帆組が総合7位入賞 470世界選手権大会

磯崎／関組は16位、高山／盛田組は28位、吉田／木村組は36位

10月21日～29日、地中海に面したイスラエルのスドット・ヤム（Sdot Yam）にて、2022年470級世界選手権大会が開催されました。日本からは4チームが参加し、岡田奎樹／吉岡美帆組がメダルレースに進出し7位入賞となりました。磯崎哲也／関友里恵組は16位、高山大智／盛田冬華組は28位、吉田愛／木村直矢組は36位でした。



表彰式で盾を手にする岡田(右)／吉岡組

### 【選手コメント】

#### 岡田奎樹／吉岡美帆組

ファイナルシリーズの最終レースで中国艇とのインシデントで失格してしまったことは自チームの詰めの甘さだったと反省しています。ルールの理解や自艇をプロテクトするポジショニングはチーム強化の中で取り組んできたことだったため、ミスをしないよう今後は注意していきたいと思いました。

メダルレースでは3位フィニッシュと、しっかりと実力を出し切るセーリングができたので、チームとして良い方向に進めていると満足しています。

来年の海外遠征まで日本国内で今回得た課題をしっかりと克服していけるよう練習していきます。

【最終成績】

- 1 位 Luise WANSEER / Philipp AUTENRIETH(ドイツ)71 ポイント  
2 位 Jordi XAMMAR HERNANDEZ / Nora BRUGMAN CABOT(スペイン)82 ポイント  
3 位 Camille LECOINTRE / Jeremie MION(フランス)85 ポイント  
4 位 Matisse PACAUD / Lucie DE GENNES(フランス)87 ポイント  
5 位 Simon DIESCH / Anna MARKFORT(ドイツ)95 ポイント  
6 位 Malte WINKEL / Anastasiya WINKEL(ドイツ)100 ポイント  
7 位 **岡田奎樹/吉岡美帆**(トヨタ自動車東日本/ベネッセホールディングス)102 ポイント  
8 位 Lara VADLAU / Lukas MÄHR(オーストリア)103 ポイント  
9 位 Marco GRADONI / Alessandra DUBBINI(イタリア)103 ポイント  
10 位 Martin WRIGLEY / Eilidh MCINTYRE(イギリス)114 ポイント
- 
- 16 位 磯崎哲也/関 友里恵(ヤマハセーリングチーム'Revs')  
117 ポイント(ゴールドフリート)  
28 位 高山大智/盛田冬華(ヤマハセーリングチーム'Revs')  
159 ポイント(ゴールドフリート)  
36 位 吉田 愛/木村直矢(CABC'S グループ/ピアソンマリッジジャパン)  
106 ポイント(シルバーフリート)

オリンピック・セーリング競技の 470 級は、アトランタ 1996 大会（女子銀メダル：重由美子／木下アリーシア組）、アテネ 2004 大会（男子銅メダル：関一人／轟賢二郎組）と過去 2 大会でメダルを獲得している日本が得意とする種目です。東京 2020 大会までは男女別の種目でしたが、パリ 2024 大会からは男女混合のミックス種目として行われます。

パリ五輪セーリング競技は来年、2023 年から国粋獲得大会がスタートします。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日本セーリング連盟広報委員会 Email: kohou@jsaf.or.jp  
<https://www.jsaf.or.jp/> <http://jsaf-osc.jp/>